

授業改善推進中期プラン **国語**〔小学校第4学年〕

昭島市立成隣小学校

学年等		項目	内容
令和7年度 第4学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	①文章や文字を書くことに苦手意識のある児童が多い。また、既習漢字を日常で活用できていない児童が多く、自分の考えや気持ちを言葉にして表現することが苦手な児童も多い。 ②読書は好きな児童が多いが、読み取りに不安があるのか発言は多くなく、自分の考えに自信をもてない児童がいる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①既習漢字を正しく読み書きすることができるようにさせる。 ②自分の考えを発表したり、文章に書いたりして表現できるようにさせる。
		具体的な授業改善の方策	①漢字のミニテストなどを習得できるまで行ったり、漢字に興味をもたせるよう朝の時間等に漢字クイズを実施したりする。また、ワークシートを活用し、書くことへの苦手意識を軽減しながら書くことへの楽しさを味わわせられるよう指導する。 ②自分の考えをもつためのプロセスを指導し、時間をしっかりと確保する。ペアや小集団での意見交流の場を設け、自分の考えを広げたり深めたりすることで自信をもたせていく。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	①自分の考えを書くことへの苦手意識をもっている児童は一定数いるが、どの児童も書くことへの抵抗は軽減している様子が見られた。また、漢字の習熟については学年の中でも差が大きくなってきているのが課題として残る。 ②交流についてはどの児童も抵抗なく行うことができていた。
令和8年度 第5学年	令和8年9月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	
令和9年度 第6学年	令和9年7月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第4学年〕

昭島市成隣小学校

学年等		項目	内容
令和7年度 第4学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	①学習には意欲的に取り組む児童が多いが、ドリルやプリントの直しが不十分な児童が多い。また、四則計算の間違いが多く見られる。 ②理解はできているが、文章問題に苦手意識が強く立式ができない児童が多く見られる。また、授業中は理解できていてもテストになると間違えてしまう児童もいる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①間違えた問題を、正しく理解し解けるまでやり直す力。 ②文章を読んで問題場面を想起し、根拠をもって立式をする力。
		具体的な授業改善の方策	①くじらーニングの活用や宿題や自主学习などで、間違えた問題と類似したものを繰り返し取り組んで理解を深める。 ②文章問題をキーワードとなる言葉の見つけ方や場面絵を用意し、具体的に問題場面を思い描きやすいよう指導する。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	①基本的な四則計算の習熟に学年間でも差が大きくあり、特にかけ算とわり算の筆算の計算に課題が残る児童がいた。ただ繰り返し練習をしたり個別に対応したりすることで全員が正答を導き出せるようになった。 ②文章問題を解く際に数直線を活用して立式することができる児童が7～8割まで増えた。
令和8年度 第5学年	令和8年9月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	
令和9年度 第6学年	令和9年9月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	